

日本は現在、超高齢社会を迎えています。お年をめすことによって、かつて行う「訪問介護」や、からだの調子が昔と違って施設に通って介護を受きたり、記憶や認知に関わる脳の働きに衰えを感じたりするときに増え、今までどおりに暮らしていくのは難しい、と思い始めた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

県立看護大学 地域看護学

講師

片平 伸子

するという理念があり、ま

## なじみの施設で多様な介護

施設に入る「ショートステイ」などがあります。これらのサービスを一

施設へ通い、別の日には、施設ごとに「宿泊」

自宅で家事援助を受け、など1日の利用者の限度

が出来ます。

在宅生活を支える介護保険サービスの一つとして、小規模多機能型居宅介護があります。自宅で

新しい人になじむまでに時間がかかったり、混乱

します。介護・支援が必要

しかし、なじみの場所、

第1日曜掲載

したりすることがあります。高齢者が自宅での生活を続けていけるよう24時間体制で支援する介護サービスで、現在、全国に約3200施設、新潟県内には114施設あります。

ご自宅の近くではどこにあるのか、については、インターネットを介して「ワムネット」で調べることが出来ますし、地域包括支援センターや市役所でお問い合わせ、相談

介護保険サービスの利用を考えるとときには、小規模多機能型居宅介護についても、検討してみたいかがでしょうか。